



「半導体プレインターンシップ」を理工学部で開催

【概要】

2024年1月31日(水)に理工学部大学院棟401室にて「半導体プレインターンシップ」が佐賀県の主催により開催されました。最近盛り上がりを見せている半導体業界についての説明に加えて、佐賀県内企業2社による企業紹介、現場若手社員によるトークセッションが行われ、理工学部の学生約80名が熱心に聴講しました。

【本文】

半導体技術は現代のデジタル社会の基盤として不可欠であり、国の安全保障にも密接に関わる戦略的に重要な分野です。この重要性を受けて、わが国では国家プロジェクトの一環として半導体産業の基盤強化に力を入れています。こうしたなか、九州では、経済産業省九州経済産業局が主導する「九州半導体人材育成等コンソーシアム」が設立され、また佐賀県では「さが半導体フォーラム」が立ち上げられました。これらの取り組みは、半導体産業に関わる人材の育成や地域の半導体産業基盤の強化を目的としています。佐賀大学も、両団体の構成機関として参画し、他の加盟機関等と連携して半導体人材育成に取り組んでいます。

2024年1月31日(水)に、佐賀県の主催により「半導体プレインターンシップ」が理工学部大学院棟401室にて開催されました。このイベントは、大学生に半導体産業について知ってもらい、将来のキャリア選択肢としてもらうこと、そしてインターンシップへの参加につなげ、業界に対する理解を深めてもらうことを目的としています。

最初に、日本および九州における半導体産業の現状、将来展望、国策等について経済産業省九州経済産業局情報政策課 田口 賀徳 課長から説明がなされました。続いて、佐賀県内で半導体事業を行っている企業として、株式会社ワイ・デー・ケー九州(基山町)、日清紡マイクロデバイスAT株式会社(吉野ヶ里町)から企業紹介がなされました。最後に、両社の若手社員によるトークセッションがなされました。

このイベントには、理工学部の主に電気電子工学分野の学生約80名が参加し、メモを取りながら熱心に聴講しました。イベントの閉会にあたり、電気電子工学部門の田中 徹 教授より、イベントを主催していただいた佐賀県産業人材課の皆様、ご登壇いただいた講師の皆様へ感謝の意が表されるとともに、理工学部では半導体人材育成の一環として、来年度より半導体に関する導入的な科目を新たに開設予定であることが紹介され、イベントは盛況のうちに終了しました。



九州経済産業局 田口課長による半導体産業説明の様子